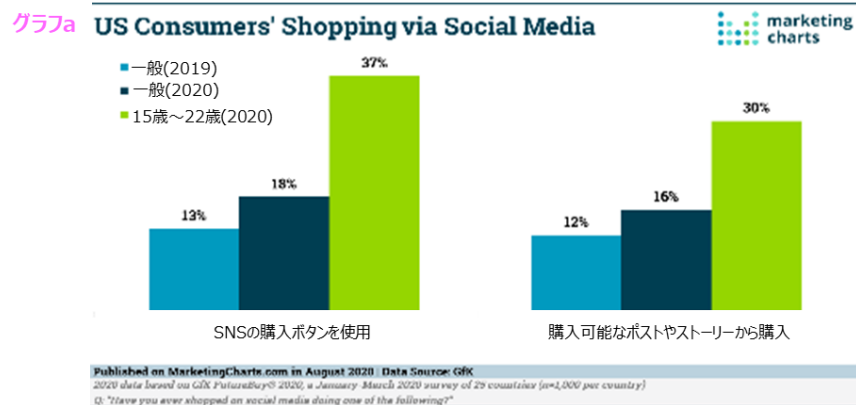


インバウンドコラム

米国消費者動向

SNS ショッピング興隆

ドイツ最大のマーケットリサーチ会社 GfK が、2020 年 1 月～3 月に 25 カ国でおこなった調査によると、アメリカの消費者のうち、52%が、必要とする製品やサービスのほとんど 100%がオンラインで購入できると回答し、昨年 48%より増加し、過半数を超えました。新型コロナウイルスの感染拡大により、オンライン・ショッピングはますます増えてきています。中でも、SNS での購入が増えてきていて、アメリカ人のほぼ 5 人に一人は、SNS の購入ボタン(18%)や購入可能なポストやストーリー(16%)から商品を購入したことがあると回答しています。いずれの回答も昨年から 5～4%増加しています。また、15 歳～22 歳の Z 世代の若者にいたっては、2020 年の全体よりほぼ倍の 37%が、SNS の購入ボタンから、30%が購入可能なポストやストーリーから購入したことがあると回答しています。(参照※1、グラフ a)



出典元: Marketing Charts

※1 SNS ショッピング興隆 - Marketing Charts

<https://www.marketingcharts.com/digital/social-media-114210>